

JGAP 指導員基礎研修カリキュラム

(JGAP 対応)

【JGAP 指導員基礎研修の目的】

- ・ GAP の考え方、仕組み、内容を理解する
- ・ JGAP の管理点、適合基準の全項目をケーススタディーを交えて理解する
- ・ JGAP の指導方法を学ぶ
- ・ JGAP 指導員 (※) の資格を取る

※団体内部監査員や審査員をお考えの方は、必須の資格となります

【JGAP 指導員基礎研修内容 (JGAP 青果物・穀物は共通)】

- ・ JGAP 実践講座
 - － GAP の基礎とその必要性
 - － JGAP 認証とは？
 - － GAP の導入について
 - － 国内外の GAP を取り巻く状況
 - ・ 「JGAP 青果物 2016」の解説
(解説・ケーススタディー・グループワーク)
 - － 経営の基本 (管理点 1～10)
 - － 経営資源の管理 (管理点 11～22)
 - － 栽培工程における共通管理 (管理点 23～25)
 - － 専用項目 (スプラウト類、きのこ類、精米、麦、仕上げ茶)以下は青果物および穀物共通の研修のみ
 - － 「JGAP 青果物」と「JGAP 穀物」との差異項目
 - ・ JGAP 総合規則
 - － 審査・認証について
 - － 審査のタイミング、種類、有効期限、申込方法等
 - － 消費者向け JGAP マークの表示
 - ・ 質疑応答
 - ・ 試験配布・説明
 - ・ 受講者アンケートの回収
- 【試験および修了合格の基準】

JGAP 指導員基礎研修の終了時に試験用紙を配布いたします。試験は持ち帰りの試験となります。提出期限までに全国農業改良普及支援協会まで回答の上、送付してください。送付の際、郵送事故が起こる場合もございますので、必ずコピーを取り、コピーを送付してください。（原本はご自身で保管ください）

合格基準は、以下の通りとなります。

- ・研修期間中の出席時間が全体の90%以上であること
- ・試験の得点が80点以上であること

【合否の発表、再受講、再試験について】

合格した受講者には合格証を配布いたします。また、JGAP 協会より指導員カードが送付されます。（試験受領から合格証は送付まで、約1.5ヶ月かかります）

試験の得点が80点未満の不合格者には、参加証明証を配布いたします。ただし、12ヶ月以内に1度だけ試験を再提出することができます。

研修期間が90%に満たさなかった不合格者には、12ヶ月以内に1度だけ再受講することができます。